



ふれあい

記事と情報は
 周陽公民館へ
 ☎ 28-6515
 メールアドレス shuyo-ko@city.shunan.yamaguchi.jp

4月の資源回収日は15日（第3日曜日）です。

文化祭特集号

文化祭



「リズム体操」の発表です。
一年間の成果がピタリと決まっていますね

3月11日（日）

周陽公民館文化祭が開催されました。この日は東日本大震災からちょうど1年という日でもあり、参加者全員の黙祷で幕を開けました。

講座生の1年間の集大成として作品の展示、発表に全力を注がれ、素晴らしい文化祭になりました。

当日は体験コーナーやバザー等の催しもあり、お天気の良いことも手伝って大勢の人で賑わいました。

その会場で義援金を募りましたところ、皆様の温かい気持ちが17,184円集まりました。これは市の社会福祉協議会を通じて被災地へ届けられます。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



展示中の作品（俳句・生花）



熱心に観賞する参加者

これからの主な行事(予定)

4月

- 2日 (公) 公民館講座生募集開始
- 5日 (社) 食事交流会(花見)
- 9日 (コ) 交通立哨
(中・小・幼) 始業式
- (中) 入学式
- 10日 (小) 入学式
- 11日 (幼) 入園式
- 15日 (コ) 資源回収
- 18日 (小) 集団下校
- 23日 (公) 休講(～5/6)
- (中) 1年生家庭訪問(～27日)
- 26日 (小) 参観日・学級懇談・PTA総会



テント張りの準備

文化祭は準備から



パネル運び

前々日の九日、講座生だけでなく地域の団体にもご協力いただいで、大変な作業にも関わらず楽しい雰囲気の中で準備が進みました。縁の下の方があっての文化祭です。ご協力ありがとうございました。



支柱をリレーで

お世話になりました!

主事として周陽公民館に来たときは二十一歳の時でした。あれから、あつと言う間に四年の歳月が経ち、この平成二十四年三月に退職させていただくこととなりました。世間知らずの若者を快く受け入れてくれて、様々な経験と成長をさせてくれた周陽地区のみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

公民館の仕事を振り返ると、すそ野を広げるとどこまでも広がっていくような仕事で、『なんでも屋』だったような気がし

ます。やればやるほど、楽しさと大変さがどこまでも広がっていくような...そんな感覚です(笑)そうした仕事の中で、どこまで地域の力になれたのか、自分としてはわからないところですが、地域に笑顔を増やしたい思いでがんばってきました。

四月から地元愛媛での生活となりますが、周陽での経験を活かして仕事や地域活動に汗を流して行きたいと思えます。短い間でしたが、本当にありがとうございました。

周陽公民館主事 小林 知明



パネル組み立て中

あとがき

春、胸膨らむ響きの季節。新しい生活、新しい出会い、新しい木の芽等、みんな希望に満ちている言葉です。

しかし古来『春眠暁を覚えず』といわれ、「春」はなんとなくぼんやりしたイメージがありますが、新しく何か始めようという気持ちが湧くのも「春」という季節だと思います。

花粉症で悩んでいる人もそろそろ終息(?)に向かうでしょう。気持ちを切り替えて新年度、笑顔で頑張りましょう。

